

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

12月市議会定例会報告

平成24年第5回市議会定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の会期で開かれました。本定例会では、高崎市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、高崎市暴力団排除条例の制定について、平成24年度高崎市一般会計及び特別会計補正予算議案などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算と地域主権改革に関する条例等を可決

予算の総額に歳入歳出それぞれ35億9608万円を追加し、平成24年度予算の総額を1578億6845万円としました。

土木費の補正額13億4030万円は、新体育館建設事業の用地買収費13億円、設計委託料4千万円が計上されました。

また、地域主権改革一括法によって地方自治体が独自に基準を定めることができるようになったことに伴い、新年度から施行する特別養護老人ホームや障害者支援施設などの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定などの議案については、各常任委員会の詳細に審議し可決しました。

福島県 南相馬市への

『森の防潮堤づくり』にご協力を!

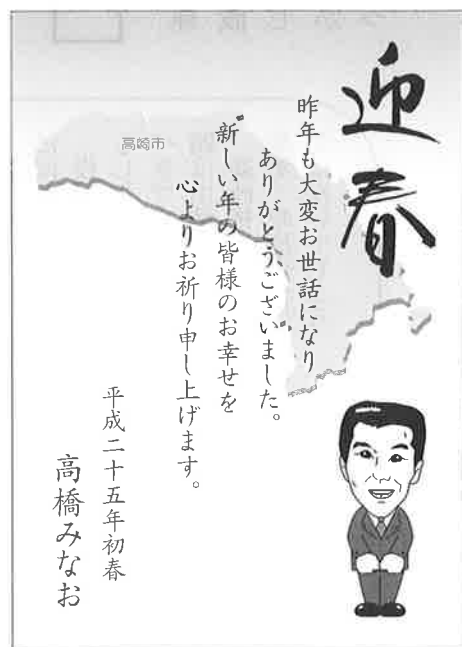
高橋みなお後援会では、東日本大地震、福島第一原発事故により多大な被害を受けた南相馬市が今後10年をかけて、高さ10m×幅200m×長さ14kmの防潮堤をつくる復興計画を応援しています。

この防潮堤に植える苗木づくりと植樹・育樹を支援するため、ご家庭でどんぐりのポット苗を育てていただき3年後に南相馬市へ贈呈していきます。

皆様のご協力をお願いいたします。

詳しくは、高橋みなお後援会まで Tel:363-2733

後援会長 工藤 誠



十二月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十七人の議員が行い、高橋みなお議員は、二日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

競馬場跡地利活用方針と
本市都市集客戦略の具体的課題

質問 群馬県が競馬場跡地に計画しているコンベンション施設と本市の都市集客施設整備は大きな関わりがあるが見解を。

答弁 高速交通網とコンベンションによる交流、音楽ホールによる創造発信等を有機的に結び付けていく。お互いの役割分担を明確にし、相乗効果を最大限発揮できるよう連携を図っていく。

質問 活用に当たっては公有地化の整理が問題となっている。最大の課題である民有地の所有者との折衝についてはどのように検討されているのか。

答弁 県との調整の中でも土地関係の諸課題は大きなウエイトを占めるので、県に協力しながら本市としても積極的に取り組んでいく。

質問 本市や県全体の発展に役立つ利活用

に対しては強い思いがあるが、今後の予定はどこまで明確になっているのか。

答弁 平成二十五年度から二十六年年度に設計を行い、二十七年年度の着工に向けて計画を進めている。

質問 都市集客施設基本計画案が修正されてきた中で、高崎駅を以て整備される東西の集客施設の一体性、空間形成、人・ものの流れ、経済効果の検討はしているのか。

答弁 高崎駅を中心に各施設を配置することが、本市の都市機能の格をあげることにつながり、外から人をよぶことで地域の新しい賑わいを生み出していくと考えている。

質問 本市の将来を左右する大プロジェクトであり、市民が誇れる整備推進を要望するが、ビジネスゾーンに対する施策展開は。

答弁 民間主体で整備を進めるもので調査検討している。各業種や企業と意見交換を行いながら参画者の特定を固めたい。

地球市民環境会議の今後について

質問 姉妹友好都市間で開催してきた地球市民環境会議では、市民や企業等の部会も設置され活発な活動が行われてきたと認識している。一定の成果を上げ、収束の方向性が市長から示されたがどのような成果があったのか。

答弁 国際交流の側面では、収束の方向性が示された。一方、環境活動に関しては、「地球市民の日」にパネル展示や環境ポスター展などの実施、市内の環境保全活動で功績のあった団体等を表彰してきた。

質問 市民団体や企業・教育・行政の4者が協力して積み上げてきた活動は継続し、更なる発展を願うが、今後どのような形で継承していくのか。

答弁 市民部会、企業部会とも大きな組織となっており、今後の環境行政に必要であることから活動は継続していきたいと考えている。これまでの部会は解散となるが、新しい組織によりイベントや表彰を継続していけるよう調整検討をしている。

後記

ある高校生の声から…
「私たちの将来に影響する大切な選挙なのに、大人にはもつと真剣に投票してほしい」
投票率は大きく下がり、3年前の政権交代を後押しした民意の失望は重いものがあつたと受け止めるべきでしょう。被災地対策と原発問題など喫緊の課題は山積みです。
新政権には、政策の優先順位を明確にし、謙虚な姿勢で政権運営にあたってほしいと願うのは私だけではないでしょう。